昭和26年3月12日第3種郵便物認可　平成25年3月1日発行（毎月1日発行）第63巻 第3号
ISSN 0913-9850

2013 Vol.63
3月号

MONTHLY かもつ

エコレールマークをやさしく解説した子供用ハンドブックを作成しました

コンテナ化で鉄道活用の幅広げる王子製紙株式会社 春日井工場

公益社団法人 鉄道貨物協会
日本貨物鉄道株式会社

公益社団法人 鉄道貨物協会

我が国の貨物輸送の分野について、物資の安定・供給及び地球環境負荷（輸送量当りのCO_2排出量）の観点から、輸送方法の研究及び研究成果の普及啓発活動を行い、以って国民の生活に不可欠な物資の安定供給及び地球環境の保全に資することを目的とする。

Index

表2 土木・建築遺産

1 エコレールマークをやさしく解説した子供用ハンドブックを作成しました
2 本部委員会の審議内容
4 「コープさっぽろ」エコレールマークのPRイベントを開催 北海道支部
5 伊達市市長が涙ながらにJR貨物を激励！ 東北支部
6 幹事会及び講演会開催 名古屋支部
幹事会及び利用促進会議開催 高崎支部
7 幹事会及び利用促進会議開催 米子支部
金沢地区部会及び利用促進会議開催 北陸支部
8 幹事会及び利用促進会議開催 静岡支部
「エコレールマーク」朝日小学生新聞に掲載
9 沖永良部島 九州支部
10 平成24年度（公社）鉄道貨物協会賞が決定！
平成24年度 JR貨物 小集団活動全社発表会
平成24年度 JR貨物 業務研究発表会

12 FREIGHT EYE

14 会員企業紹介 大和ハウス工業株式会社
15 協会ニュース／リフレッシュクイズ

16 モーダルシフト 王子製紙株式会社 春日井工場
20 貨物駅の仕事ガイド
コンテナホーム改修工事 高松貨物ターミナル駅
22 SPOTLIGHT
コンテナ品質管理部の輸送品質向上キャンペーン
24 トピックス
表3 「FREIGHT EYE」撮影メモ／JR貨物輸送概況

エコレールマークは地球環境にやさしいマークです

エコレールマークをやさしく解説した子供用ハンドブックを作成しました

公益社団法人 鉄道貨物協会

当協会では、昨年12月に日本最大の環境展「エコプロダクツ2012」に合わせ、エコレールマークとはどんなものかということを、やさしく知っていただくための「エコレールマーク子供用ハンドブック」を作成しました。主に小学生から中学生を対象とした16ページもので、この一冊でエコレールマークの概要が分かるものとなっています。

内容は下記のように盛りだくさんなものです。本部ではこのハンドブックを活用し、希望された学校へ直接訪問して、エコレールマークについて説明をする出張型教室を計画しています。このハンドブックを活用してエコレールマークの輪を広げていきたいと思います。

〈エコレールマーク子供用ハンドブックの主な内容〉

- ●エコレールマークの誕生について
  （国土交通省が平成17年4月に制定した環境ラベル）
- ●鉄道貨物輸送が地球温暖化防止に役立つこと
  （二酸化炭素排出量がトラックの約6分の1）
- ●モーダルシフトの推進
  （トラック輸送から鉄道輸送などのエコ輸送に転換）
- ●エコレールマークの循環図
  （消費者参加のエコ社会の実現）
- ●エコレールマークがどのように使われているか
  （実用例の紹介）
- ●エコレールマークを付けている商品等の紹介
- ●地球温暖化防止に関わる用語の解説集
- ●実際に出題された広島県立広島中学校入試問題とチャレンジ問題
- ●付録として「エコレールマークちゃんシール」を添付

本部委員会の審議内容

公益社団法人 鉄道貨物協会

第8回 利用促進委員会

(H25.2.20)

平成24年度第8回利用促進委員会では、年間テーマ『鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた意向調査の実施および利用促進策の提案』、サブテーマ『鉄道コンテナ輸送の利用促進に資する拠点およびインフラのあり方に関する調査研究』及び『来年度テーマの選定について』について審議された。

テーマ1「年間テーマ:鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた意向調査の実施および利用促進策の提案」

今回の委員会では、まとめ部分と報告書(案)に関して審議された。

1.前回の委員会では、具体的な改善や要望点等のなかで優先度合が高く評価された項目を検討した。今回の委員会では、それらの項目の総括として一定のまとめに関する審議を行なった。審議内容は、下記の通り。

A.直近の10年間においてJRコンテナ輸送量(有賃のみ)は6.1%減少している。もちろん、リーマン・ショックや東日本大震災など、不可抗力と言えるマイナス要素があったことは事実である。しかし、その一方で、荷主企業側の高度化するニーズに、鉄道事業者および利用運送事業者が必ずしも応えることができなかったことも、輸送量減少の一因であると考えられる。そこで、本調査においては、鉄道コンテナ輸送の利用者に対して意向調査を実施することにより、鉄道コンテナ輸送に対する相対的な評価や要望などについて把握した。

B.鉄道コンテナ輸送の利用者からは、ハード・ソフト両面において様々な要望が出された。こうした要望のなかには、法律・制度上の制約、物理的な制約、多大な投資等を要する等の理由により、実現には困難を伴うもの、あるいは実現まで長期間を要するものもある。

C.しかしながら、そのような要望に対応しない限りは、鉄道貨物輸送へのモーダルシフトは進展しない可能性が想定される。

D.意向調査や利用促進委員会における議論により、鉄道事業者および利用運送事業者が荷主企業のニーズに応えられるよう、これまでも様々な対応をしてきたことは認めるものの、その進捗度合いに対しては、荷主企業は必ずしも満足してはいないことが明らかにされている。

などのポイントがまとめ部分として審議された。

2.このまとめ部分を含めて、年間テーマの報告書(案)について審議された。尚、報告書(案)の構成は、下記の通り。

A.調査の概要
(1)調査目的
(2)調査方法
(3)調査項目

B.アンケート調査結果
(1)調査の概要
(2)調査結果

C.鉄道コンテナ輸送の利用促進策および新たな輸送サービスの検討と提案
(1)利用促進委員会委員の意見の集約
(2)鉄道コンテナ輸送の利用促進策および新たな輸送サービスの検討と提案

D.まとめ
これにより、当年間テーマの報告書については、上記の構成により承認された。

テーマ2「サブテーマ:鉄道コンテナ輸送の利用促進に資する拠点およびインフラのあり方に関する調査研究」

今回の委員会では、報告書(案)に関して審議された。前回委員会では、報告書(案)の構成について審議されたのち今回の委員会までに特段の意見がなかったことを受け、前回提示された内容をもって今年度のサブテーマの報告書とすることが承認された。

尚、当報告書のまとめ部分は、下記の通り。「本調査では、12フィートコンテナ換算で年間10,000基以上の輸送需要(発送・到着合計)が見込める地区を有望であると判断し、全国で10か所がその条件に該当した。そのなかには、アンケート調査結果において設置ニーズの高かった滋賀県の3地区(湖東地区、日野・八日市地区、湖北地区)が含まれている。当該3地区は隣接しており、合計で年間約37,000基の潜在貨物量が見込めることから、3地区のいずれかに鉄道コンテナ取扱施設を設置した場合、採算がとれる可能性が高いものと推測できる。調査目的の項でも記したとおり、近い将来において、長距離の大型トラックを中心に、トラックドライバーを確保することが困難になる事態も想定されるなかで、鉄道コンテナ輸送が長距離輸送の受け皿として機能するためにも、鉄道コンテナネットワークの維持・強化は必要不可欠と考えられる。鉄道コンテナネットワークの維持・強化のためにも、鉄道コンテナ輸送の空白地域のなかで潜在貨物量の多い地域に、鉄道コンテナ取扱施設を設置することが強く求められよう。」

テーマ3「来年度テーマについて」

平成25年度取組みテーマの選定については、前回委員会でテーマ名が決定された。それを受けて、今回の委員会では年間8回の各委員会における目的・調査概要・調査項目・調査方法等に関して審議され承認された。

A.年間テーマ『鉄道貨物輸送における新サービスに対するニーズの把握とフィージビリティに関する調査研究』

当利用促進委員会は、平成24年度に「鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた意向調査の実施および利用促進策の提案」を行った。同調査では、鉄道コンテナ輸送の利用を阻害していると考えられる事項などを把握し、鉄道コンテナ輸送の利用を促進するための改善点や新サービスなどを提案したものである。

今年度調査では、昨年度調査の内容をさらに深度化する。再度意向調査を実施することにより、荷主企業が欲する新サービス（注:既存サービスの改善を含む）についてより細かく検討し、新サービスの提供による鉄道コンテナ輸送の利用促進に向けた提案を行うこととする。

B.サブテーマ『大型トラックドライバー需給の中・長期見通しに関する研究』

わが国では、少子高齢化の進展に伴い、若年人口の減少が続いており、将来においては若年労働者の確保難という状況が発生するとの見方が強い。労働集約産業であるトラック運送事業は、その影響を最も強く受ける産業のひとつと考えられる。

そうしたなかで、長距離貨物輸送の受け皿として、鉄道コンテナ輸送に対する期待は徐々に高まっている。しかし、その一方で、景気の停滞を受け、とくに地方においてはトラックドライバー不足が顕在化していない状況にあることなどから、荷主企業における危機感がそれほど大きくはないこともまた事実である。

そこで、本研究では、大型トラックドライバーを中心に、トラックドライバー需給の将来予測を行い、将来におけるトラックドライバー不足数について示すことを目的とする。

当委員会では、平成22年度に「鉄道貨物輸送を取り巻く環境変化に関する調査研究」を実施し、そのなかでトラックドライバー需給の見通しについて研究を行った。その後、東日本大震災の発生などもあって、当該予測値（GDP、貨物輸送量など）と足元の数値に乖離が生じているため、足元の統計を用いて、再度トラックドライバー需給について予測を行うこととする。

第8回 輸送品質向上委員会 (H25.2.22)

平成24年度第8回利用促進委員会では、『来年度テーマの目的・内容』について審議された。

年間テーマ

1.テーマ名「荷擦れ・荷崩れ対策としてのコンテナの内装及び養生材に関する調査研究と提案Ⅱ」

2.テーマの目的と内容

A.鉄道コンテナ輸送における荷擦れ・荷崩れ事故については、フォークリフト荷役時のチルト等、その発生原因が指摘され、これまでも数度にわたり調査研究が行われてきた。平成24年度調査では、これまでの調査研究で未着手となっていた「コンテナ内装」及び「養生材」に焦点を当て、段ボール箱輸送時の荷擦れ・荷崩れ事故に関し、先行研究分析、現地調査及びヒアリング調査により各種の分析を進めてきたところである。

B.特にヒアリング調査については、荷主・利用運送事業者12社を対象とし、種々の課題を抽出することで、一定の成果を得ることができた。

C.しかしながら、荷擦れ・荷崩れ事故に対しては、荷主・利用運送事業者から依然として多くの改善要望が寄せられており、根本的な解決に至っていないのが現状である。

D.荷擦れ・荷崩れ事故に関し、今以上に有効な対策を講じていくためには、当委員会においても、より精度が高く、実態に即した分析を進展させていくことが重要である。

E.また、当委員会委員の所属するコンテナ・車両メーカー等において進められている「荷擦れ・荷崩れ対策としてのコンテナ・車両の技術開発」についても、当委員会内で情報を共有し、調査研究テーマの議論に資することが有益であると考えられる。

F.以上の理由により、平成25年度は、前年度に取り組んだテーマ「荷擦れ・荷崩れ対策としてのコンテナの内装及び養生材に関する調査研究と提案」を継続調査することとし、荷擦れ・荷崩れ事故防止に向けたさらなる提案を行う。

サブテーマ

1.テーマ名「鉄道コンテナ輸送時における輸送貨物の挙動把握調査」

2.テーマの目的と内容

A.平成24年度調査サブテーマである「鉄道コンテナ輸送事故防止資材の効果検証調査」で鉄道輸送中における振動を抑制する機材の一例として防振資材の性能確認を行い、その性能の把握と有効性を加速度などによって数値的検討した。

B.その結果、調査した防振資材では縦揺れには効果を発揮するものの、水平動には効果が現れにくいという特性を見出した。

C.しかし、実際に商品がどのような挙動を起こしているものか可視化することができれば、現在使用されている様々な養生材や防振資材の効果を推定することが可能と思われる。

D.そこで平成25年度は、鉄道輸送中におけるコンテナ内の製品挙動を撮影し、加速度値と映像から製品の揺れを把握することを目的として実施する。

「コープさっぽろ」

エコレールマークのPRイベントを開催

北海道支部

● 期日:平成25年1月11日(金)
● 場所:コープさっぽろ ソシア店

「コープさっぽろ」でのエコレールマークPRイベントは、今年で3回目を迎えました。エコレールマークを消費者の方に広く知ってもらうため、お店で扱っている認定商品をイベント広場に展示し、来店されたお客様に、パンフレットを使ったエコレールマークの説明、ノベルティーの配布を行いました。

また、実際の売り場コーナーの商品棚にはエコレールマークのPOP広告を貼りだしました。これは他の商品との差別化を行う事により、「認定商品を購入するだけで、地球環境に貢献している」ということを消費者の方に意識してもらえればとの思いが込められています。

伊達市市長が涙ながらにJR貨物を激励!!

―― 東北支部セミナーにて ――

東北支部 ● 期日：平成25年2月13日（水） ● 場所：ホテルメトロポリタン仙台

感動の講演をされた仁志田伊達市市長

東北支部では、2月13日ホテルメトロポリタン仙台において、仙台地方通運業連盟と共催で、東北各県から190名の参加を得て、セミナーを開催しました。

冒頭、大橋幹事長は、「東北支部発足後初めてのセミナーに多くの皆さまにご参加いただき感謝」と、仙台地方通運業連盟の村上会長は、「鉄道輸送をもっと知っていただく機会に」と述べました。続いて来賓の長谷川東北運輸局長より、「一時物資拠点の整備や自治体と民間での役割分担など、災害に強い物流システムの構築中である」等の、JR貨物真貝東北支社長から「隅田川駅の改良や梅田駅から吹田貨物ターミナル駅・百済貨物ターミナル駅への機能移転の効果を東北復興に役立てていきたい」等のご挨拶をいただきました。

今回のセミナーは、復興に向けての姿が最も見えず、被災者が先行きに不安を持っている状況にある福島県の放射能被害への対応に焦点を当てました。

第一部では、仁志田市長から、伊達市の放射能被害について、事故発生当初の国の場当たり的対応、コミュニティを分断させかねない不公平感を生んでいる住民への補償、風評被害の実態、人災意識を払しょくしていくことの必要性やそのためにボランティアの皆さまの活動が原動力になっている等の、生のお話を聞かせていただきました。講演の最後に、国鉄およびJR東日本でのご経験も踏まえ、「震災後の石油列車の活躍や災害廃棄物の輸送を通じて、認知度が高まり鉄道貨物輸送の再評価の時が来ています。JR貨物の益々の発展を。」と締めくくると、参加者の皆さまから大きな拍手が送られ、会場は一体感に包まれ、感動で「もらい泣き」する方もいらっしゃいました。

第二部では、福島大学災害ボランティアセンターの学生3名の方から、災害ボランティアセンターの立ち上げ、仮設住宅での住民のための交流スペースの創設や、県外で避難生活を送る方々と福島県に残り仕事をされている方々との家族のコミュニケーションの場をつくるため各種イベントを実施していることなどの活動の様子をご紹介いただきました。講演後、米本理事長から素晴らしい活動に対する称賛の言葉を添えて、義援金が手渡されました。

その後の懇親会には、JR貨物田村社長・惟村営業部長もお見えになり、伊達鳥など福島の食材を使った料理や福島のお酒も用意され、会員の皆様と今後の貨物鉄道の発展と利用促進に向けた話が進み、盛会のうちに終了しました。

挨拶された長谷川東北運輸局長

ボランティア活動を説明する本間美雪さん

名古屋支部｜幹事会及び講演会開催

名古屋支部 ● 期日：平成25年2月14日（木） ● 場所：レセプションハウス名古屋逓信会館

名古屋支部では2月14日に平成24年度第2回幹事会及び講演会をレセプションハウス名古屋逓信会館で開催しました。

最初に寺井幹事長より挨拶があり、続いて、JR貨物東海支社より白石支社長のご挨拶を頂いた後、議案審議に入り平成25年度事業計画及び収支予算、平成25年度本部表彰者の推薦の承認を得て終了しました。

講演会では名古屋大学災害対策室教授であり、減災連携研究センターの飛田 潤氏を講師に「近い将来の広域地震災害にむけて、今すべき備え」というテーマで講演を頂きました。

鉄道貨物輸送に対してさまざまな要望等がありました

災害に備えをと講演された飛田教授

高崎支部｜幹事会及び利用促進会議開催

高崎支部 ● 期日：平成25年2月13日（水） ● 場所：ホテルメトロポリタン高崎

高崎支部では、平成25年2月13日ホテルメトロポリタン高崎において、幹事会及び利用促進会議を開催しました。幹事会では、石井幹事長のご挨拶に引き続き議事に入り、事務局より高崎支部の平成25年度事業計画（案）と収支予算（案）について説明を行い、審議の結果、満場一致で承認を頂きました。利用促進会議では、ご来賓のJR貨物関東支社副支社長 石原敬一郎様のご祝辞・協会本部業務部 照井担当部長の挨拶の後、平成25年3月ダイヤ改正の概要説明を行いました。会議終了後は、懇親会を開催し交流を深めました。

● 議題

第1号議案 平成25年度事業計画（案）について
第2号議案 平成25年度収支予算（案）について
第3号議案 平成25年度本部表彰について
第4号議案 平成25年度幹事会及び支部総会スケジュールについて
第5号議案 平成25年度高崎支部鉄道貨物輸送功労者表彰について

出席者から活発な意見が出されました

挨拶された石井幹事長

米子支部｜幹事会及び利用促進会議開催

米子支部 ● 期日：平成25年2月18日（月） ● 場所：米子市文化ホール

米子支部では、平成25年2月18日に平成24年度幹事会及び利用促進会議を米子市文化ホールにおいて開催しました。

幹事会では、事務局より米子支部の平成25年度事業計画（案）と収支予算（案）について説明を行い、原案通り承認を頂きました。

利用促進会議では、冒頭に坂口支部長（米子商工会議所会頭）よりご挨拶を頂き、続いてJR貨物米子営業支店から平成25年3月ダイヤ改正の概要についての説明がありました。

その後、協会本部のエコレールマーク部中村事務局長より「エコレールマークについて」の説明があり、皆様がエコレールマークの普及に関心を持って取組んでいただけるようにお願いし、会議は無事終了しました。

挨拶された坂口米子支部長

多くの会員の皆様のご参加を頂きました

北陸支部｜金沢地区部会及び利用促進会議開催

北陸支部 ● 期日：平成25年2月6日（水） ● 場所：キャッスルイン金沢

北陸支部では、2月6日に平成24年度金沢地区部会及び利用促進会議をキャッスルイン金沢において開催しました。会員である荷主企業・利用運送事業者及びJR貨物等16名のご出席いただきました。

冒頭、林地区部会長（金沢商工会議所理事）のご挨拶に続き、JR貨物上野金沢支店長、河合副幹事長からご挨拶を頂きました。その後、北陸支部より活動状況の報告、JR貨物より平成25年度ダイヤ改正についての説明がありました。

質疑応答では、「平成25年春ダイヤ改正」及び「輸送障害時の連絡体制」について活発な意見交換が行われました。

その後懇親会を実施し、会員の皆様相互に理解・親睦を深める事ができました。

活発な意見交換が行われました

河合副幹事長

林地区部会長

JR貨物上野金沢支店長

静岡支部｜幹事会及び利用促進会議開催

静岡支部 ● 期日：平成25年2月15日（金） ● 場所：ホテルシティオ静岡

静岡支部では、2月15日ホテルシティオ静岡において幹事会及び利用促進会議を開催し、40名の方々にご出席をいただきました。

幹事会では事務局より「平成25年度事業計画（案）」「収支予算（案）」の説明を行い、原案通り承認をいただきました。

利用促進会議では冒頭、近藤幹事長（日本通運（株）静岡支店長）、JR貨物白石東海支社長よりご挨拶をいただきました。

その後、協会本部エコレールマーク部の中村事務局長より「エコレールマークについて」の説明があり、次に、落語家の林家鉄平氏を講師に迎え、「笑いが招く安全職場」と題して講演会を行いました。お話の中で、どんなに他人から嫌な仕事をしていると思われていても、自分が好きであればプラス発想で、決してストレスにはならないなどの講演と、都々逸や小咄などをしていただき、楽しい時間を過ごしました。その後、懇親会を実施し会員相互間の親睦を図ることができました。

林家鉄平さんがユーモアたっぷりの講演

挨拶された近藤幹事長

多くの皆さんが説明に耳を傾けていました

「エコレールマーク」朝日小学生新聞に掲載

2月26日付の朝日小学生新聞にエコレールマークの記事が掲載されました。「マークで学ぼう『地球環境を考える“eco のとびら”』」という、小学生に環境マークを紹介するコーナーへの掲載でした。エコレールマークを目にした朝日学生新聞社と協同で連載を企画している（株）日本入試センター（サピックス小学部）より掲載の申込みがありました。このコーナーでは、エコに関するいろいろなマーク用語やその取組みについて、子供達の疑問に対話形式で易しく教えています。これを機にエコレールマークの子供たちへの認知度がアップすることを期待しています。

また協会本部エコレールマーク部では、次年度の活動方針として希望のあった学校に出向き、子供用ハンドブックを使用して、エコレールマークの説明を行う「出張型教室」を計画しています。たくさんのお申込みをお願いします。

なお、この紙面は約一ヶ月間朝日小学生新聞ホームページ上にて閲覧可能です。

お国自慢

花と鍾乳洞の島

沖永良部島

沖永良部島（おき（の）えらぶじま）は、鹿児島県大島郡に所属し奄美群島の南西部に位置し、鹿児島市から南に約550㎞、沖縄本島から北に約60㎞、鹿児島から飛行機で約1時間半の場所で、面積は東京都の伊豆大島より若干大きい島です。気候は、温暖な亜熱帯性気候で年間平均気温は22℃であり、奄美群島の中では冬の気温が比較的温暖で沖縄本島とほぼ同じです。

薩摩藩の直轄領時代は、主に政治犯的な囚人の流刑地であり、江戸時代末期（1862年～1864年）、島津久光に疎まれた西郷隆盛が流されて1年7ヶ月滞在しています。西郷隆盛像は東京都の上野公園、鹿児島市立美術館近く、霧島市西郷公園と同様にこの地にも銅像があります。

島の特徴としては、隆起サンゴ礁の島で、全島ほとんどが裾礁型のサンゴ礁起源石灰岩（第四紀層の琉球石灰岩）で被われています。島の西部に最高地点の大山（標高240m）があり、大山山頂部とその周辺は手付かずで、ある程度のまとまった面積の亜熱帯性の森林とカルスト地形が残っています。カルスト地形の発達は、亜熱帯性の気候や第四紀の多孔質な石灰岩という岩石的性質の違いもあって、ドリーネや鍾乳洞、地下水系の発達の度合いが著しく高く、いわゆる日本三大カルストにも劣りません。島全体には鍾乳洞がはりめぐっていて広範囲で複雑に入り組んでいるので、全てを確認するのはなかなか困難ですが、いくつか規模の大きい鍾乳洞の中の一つで「昇竜洞」は観光向けに開放されています。

この島には赤土の畑が広がっており、また温暖な気候と適度な降雨は農業に適している関係で、ジャガイモやサトウキビの他、特産のテッポウユリ（エラブユリ）やフリージアなどの球根栽培、グラジオラスなどの花卉栽培などが盛んで、3月～4月に島を訪れると花畑から芳香が漂ってきます。ちなみにこの島で採れたジャガイモは、鉄道コンテナで全国各地へ輸送されています。また、島特産のサトウキビを絞って作った黒糖から黒糖焼酎が作られて名産品となっています。

担当：九州支部（中筋 英彰）

島内の知名町から東シナ海を望む

昇竜洞入口

沖永良部島特産の馬鈴薯

鍾乳洞の中の一つで「昇竜洞」は観光向けに開放されています

吹田機関区の発表

平成24年度JR貨物

小集団活動全社発表会

●（公社）鉄道貨物協会賞
関西支社 吹田機関区 Team Credit2012

発表テーマ:関西の節電は吹田機関区から

社長賞を授与された吹田機関区・梅田駅の皆さん

協会賞を受賞された吹田機関区の皆さん

挨拶された田村社長

岡嶋取締役による講評

平成25年1月30日（水）に、JR貨物小集団活動全社発表会が開催されました。冒頭に、田村社長から「自らの身を修めることは家を整え、ひいては国を治めて天下を平和にする。個人を大切にし、生きがいを見つけよう。小集団活動の結果として賞はあるが、結論に至るプロセスに注目したい。」というご挨拶をいただきました。

その後、全国の支社大会から選抜された13チームによる発表が行われました。鉄道貨物協会賞は時代の状況を反映し、節電をテーマとした関西支社 吹田機関区 Team Credit2012になりました。全体を通じて、他地区・協力会社の支援を受けたり、協力し合ったりして検証を行った事例が多く見られました。特に社長賞を獲得した関西支社 TEAM-「SU」PPLEは、吹田機関区と梅田駅の合同チームであり、その発表も素晴らしいものでした。異系統の2つの職場がチームとなり、お互いの立場を理解し力を合わせることで、何事も乗り越えられるということを身を持って示されたことは、小集団活動だけでなく全ての仕事を行う上で通じることであると感じました。

また、手作りのシミュレーターを発表会に持参したチームや、東日本大震災をテーマにしたチームもありどのチームもベテランの味と若手の熱意が組み合わされ、誰にとっても得るものの多い発表会でした。

●社長賞：関西支社 吹田機関区・梅田駅 TEAM-「SU」PPLE
発表テーマ・緊急指令! 吊り上げ脱線を克服せよ!!

4年度
協会賞が決定!!

平成24年度JR貨物
業務研究発表会

●(公社)鉄道貨物協会賞
(株)ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス
発表テーマ:フォークリフト作業による荷崩れ防止~フォーク衝撃度の軽減

ジェイアール貨物・南関東ロジスティクスの発表

協会賞を受賞したジェイアール貨物・南関東ロジスティクスの皆さん

最優秀賞を受賞した稲沢機関区の皆さん

平成25年2月14日(木)に、JR貨物業務研究発表会全社発表大会が開催されました。

発表に先立ち、村山専務から「3月には吹田、隅田川という大きなインフラの設備改良する大幅なダイヤ改正を控えている。今日の発表が明日からの、また将来の礎になるように頑張っていただきたい。」とのご挨拶をいただきました。

その後、全国の支社代表7チーム(グループ会社含む)による発表が行われました。今年度の傾向としては従来の技術系の職場ばかりでなく、運転系(駅・機関区)職場からの発表が2チームもありました。

鉄道貨物協会賞を受賞した(株)ジェイアール貨物・南関東ロジスティクスは、荷物事故防止対策としてフォークリフトに廃材を利用した緩衝装置を製作するとともに、五感を付加した作業標準に見直し、初出場ながら、日常業務の改善から荷物事故を減らす熱意にあふれていました。

各チームとも当然ながら業務内容は様々ですが、共通しているのは鉄道貨物輸送の商品ともいえる「輸送品質」をそれぞれの業務の中の改善活動を通じ、レベルアップさせるための創意工夫を行っているということでした。お客様にご提供する商品=「輸送品質」とは何かということを、改めて考えさせられる1日でした。

●最優秀賞:東海支社　稲沢機関区
発表テーマ・統一化とデータベース化による効果的な添乗業務への改善

挨拶された村山専務

大橋常務による講評

大和ハウス工業株式会社
東京支社 建築事業部

提案から建築、維持管理まで大和ハウス工業の物流ソリューションの紹介

大和ハウス工業は創業以来、工業化建築のパイオニアとしてさまざまな事業用建築を手がけてきました。2002年には物流施設ソリューション「D プロジェクト」を立ち上げ、本格的に物流施設建築を開始。特定テナント専用のBTS型物流施設の開発を行い、その実績は今や3,000棟以上にのぼります。

物流施設を取り巻く環境は、近年になって大きく変化しました。通信事業の拡大や海外進出する国内企業の生産・物流拠点の強化などの影響を受け、今後事業領域は更に拡大していく事が予想されます。そのような中、当社は2012年より新たな市場拡大と幅広いお客様のニーズに応えるため、マルチテナント型物流施設の開発に踏み出しました。

今回は「D プロジェクト」のご紹介と今後の展開についてご紹介します。

■「D プロジェクトとは」

物流拠点として事業に適した土地・施設のご提案はもちろん、お客様のニーズに合わせて大和ハウス工業自ら土地所有者や建物所有者としてなど事業に参画し、お客様の事業をバックアップします。

D プロジェクトの特徴

- お客様のニーズに応えるきめ細やかな配慮
  お客様のニーズに合わせてもっとも効率の良い事業スキームを選択します。
  （当社が建物を建てて賃貸するスキーム、SPC（特定目的会社）を組成する出資型事業スタイルなど）
  土地を先行取得しておくことで、お客様の要求スピードに対応する事ができます。
- 建築会社ならではの提案
  豊富な経験とノウハウで、事業にあった効率的な施設と設備を提案します。
  確かな技術力で、環境や省エネ、さらには免震などBCP対策も視野に入れた提案を行います。
- 長いスパンを見越した事業提案
  設計施工はもちろん、建設後も建物の維持管理やアフターフォローまでサポートします。

Dプロジェクトシリーズ　マルチテナント型物流施設

Point

- 多様な車輌に対応
  大型40フィートのトレーラーが対面通行可能なランプウェイ方式
- BCP対策
  免震装置を設置
- 多様なレイアウトに対応可能
  柱間スパン11.5m×有効高さ5.5m
  倉庫内シャッター幅10m×高さ4m
- ポテンシャルの高い立地
  三郷・相模原・大黒・福岡糟谷など

■ビジネスモデル「Dプロジェクト」を成熟させグローバル展開へ

国内工場が減少する中、海外で生産された部品・商品・マネーを日本に還流する企業が増加しています。

当社では近年日系企業の進出が進むベトナムに注目し、2013年3月に「ロンドウック工業団地」の開発に着手しました。

従来の国内工場からのジャストインタイム物流に代わり、海外で生産したものを国内の物流施設に保管し、そこから各地へジャストインタイム物流を行うというお客様のグローバル展開をサポートしております。

特報

2013貨物時刻表 3月16日いよいよ発売開始!

皆様お待たせしました。3月16日のダイヤ改正に合わせて2013貨物時刻表が発売予定です。これまでお伝えしておりますが、盛りだくさんの内容でこの一冊さえあれば「鉄道貨物輸送」知識が飛躍的に向上すること請け合いです。皆様の中の「鉄道貨物輸送」の世界を広がることもお約束します。是非ご購入をお願いいたします。

平成25年3～4月分実施項目

本　部

3月　6日(水)／会誌編集会議(協会会議室)
3月11日(月)／幹事長･事務局長会議(如水会館)
3月15日(金)／本部合同委員会
4月　5日(金)／会誌編集会議(協会会議室)
4月10日(水)／第2回常任委員会(如水会館)
4月25日(木)／第6回理事会(如水会館)

支　部

●東京支部
3月 9日(土)～10日(日)／第34回荒川区産業展(JR貨物関東支社営業部と共同出展)

●近畿支部
3月 7日(木)／輸送協議会(新阪急ホテル)

MONTHLY かもつ・3月号　第63巻・第3号　2013年（平成25年）3月1日発行（毎月1日発行）

発行／公益社団法人 鉄道貨物協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4 吹田屋ビル4階
☎03-5256-0577　FAX03-5256-9220
鉄道貨物協会インターネットホームページアドレス http://www.rfa.or.jp

編集／公益社団法人 鉄道貨物協会・日本貨物鉄道株式会社
（株）ジェイアール貨物・リサーチセンター
印刷／（株）恒陽社印刷所活版事業部

2013 3月16日ダイヤ改正
貨物時刻表

予約受付中!!

全国の貨物鉄道の改正ダイヤの他、
今号は新型機関車、吹田貨物ターミナル駅開業、
運転士養成所やアメリカの貨物鉄道の案内等
盛りだくさんの内容で読みごたえ十分です。
この一冊で鉄道貨物輸送の博士になれますよ。

今号の付録は
貨物列車卓上カレンダー
(2013年度)です。
お楽しみに♪

予　約　受　付

予約絶賛受付中です。予約方法は

(1)郵便振替にて当協会にお申込み

●郵便振替口座…郵便振替番号00110-6-26391
口座名…(公社)鉄道貨物協会
送金金額…2,900円(時刻表代2,400円(含む消費税)+500円(荷造り・送料))

(2)インターネットによるお申込み

(当協会ホームページ 貨物時刻表欄をご覧下さい)
http://www.rfa.or.jp

(3)書店からお申込み

(取扱い書店につきましては当協会ホームページをご覧下さい)

※予約特典として貨物列車カード(名刺サイズ)を贈呈します。
(数に限りがございます。無くなり次第終了とさせていただきます)
発送及び書店引渡し予定:3月16日以降準備出来次第。

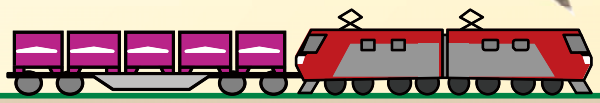
平成25年度当協会への新規にご入会の方に会員特典

●販売価格2,400円を1,500円(送料無料)にて販売
●会員限定　鉄道オリジナルオレンジカード(1,000円分)を贈呈
●毎月協会情報誌を配布

ご入会手続きは…

●年会費7,000円+1,500円=8,500円を郵便振替にてお申込み下さい。
(インターネットでのお申込みはできません)
●会員お申込み後、年度内に退会されても返金いたしません。

今回は、
大幅なダイヤ改正になりますので、
2012年版の貨物時刻表は
これまでの変遷を知る
貴重な資料となります。
この機会に、御購入されてはいかがですか?
今号と2012年版を併せて
ご参照いただければ
鉄道貨物輸送の世界が
更に広がります。



エコレールマーク
環境に優しい鉄道貨物輸送でCO2削減に貢献する
商品や企業を表示するマークです。

公益社団法人 鉄道貨物協会
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-8-4吹田ビル4F
TEL03-5256-0577　FAX03-5256-9220

MONTHLY かもつ
平成25年3月1日発行(毎月1回1日発行) 昭和26年3月12日 第三種郵便物認可 MONTHLY かもつ 3月号 第63巻 第3号 頒価420円(本体価格400円) 送料別 会員の購読料は年会費に含まれます) ISSN 0913-9850